

第9回つくば市未来構想等審議会

日時：令和元年（2019年）12月2日（月）

午後1時30分～3時30分

場所：庁議室

次 第

【全体会】

1 開会

2 報告

- (1) 未来構想キャラバンのスケジュールと開催報告
- (2) 第8回審議会の開催報告

3 議事

- (1) 戦略プラン案の修正状況について
- (2) パブリックコメントの実施について

4 閉会

配付資料

報告1	未来構想キャラバンのスケジュールと開催報告	…P2
報告2	第8回つくば市未来構想等審議会 委員意見と対応方針	…P7
資料5	未来構想改定案及び第2期戦略プラン案のパブリックコメントの実施概要	…P31
資料1	つくば市未来構想改定案 概要版 【継続審議のため非公開】	別冊①
資料2	つくば市未来構想改定案 本編 【継続審議のため非公開】	別冊②
資料3	第2期つくば市戦略プラン案 概要版 【継続審議のため非公開】	別冊③
資料4	第2期つくば市戦略プラン案 本編 【継続審議のため非公開】	別冊④

未来構想キャラバンの実施スケジュール

未来構想改定の間とりまとめの内容を受け、令和元年（2019年）度に市民の方を対象として、つくば市から出向いて未来構想の説明と意見交換を行う「つくば市未来構想キャラバン」を実施した。未来構想等の改定について市民に周知するとともに、戦略プラン策定に関する意見収集を目的としている。

今年度実施を予定していた全日程が終了し、各回でいただいた御意見等についてはニュースレターとしてまとめるとともに、未来構想・戦略プラン策定組織内で共有し、内容への反映を図っている。

1 未来構想キャラバンの実施概要

開催回	対象	募集方法	時期・会場
①中学生・高校生	つくば市に在住又は通学する中学生・高校生	広報紙、学校等を通じて周知	8/3（土） コミュニティ棟
②大学生	つくば市に在住又は通学する大学生	広報紙等を通じて周知、団体等に声かけ	9/30（月） 市内大学
③市民	つくば市に在住・在勤の方	広報紙等を通じて周知、団体等に声かけ	10/20（日） イーアスつくば
③'市民	つくば市に在住・在勤・在学の方	市HP、SNS等を通じて周知	9/30（月）～10/23（水） 電子（WEB）キャラバン
④企業	つくば市内企業に在勤の方	広報紙、メーリングリスト等を通じて周知、団体等へ声かけ	8/20（火） 産業振興センター
⑤研究機関	つくば市内研究機関に在住・在勤の方（筑協総会で説明・意見交換）	筑協広報等を通じて周知、団体等へ声かけ	6/18（火）理事会、 6/28（金）総会
⑤'研究機関	つくば市内企業に在勤の方	広報紙、メーリングリスト等を通じて周知、団体等へ声かけ	8/6（火） BiVi つくば2階交流サロン
⑥周辺地区子育て世代	周辺地区（研究学園都市建設以前からある市街地又は集落）に居住経験があり、子育て経験のある方	広報紙、メーリングリスト等を通じて周知、団体等へ声かけ	第1回 9/7（土） 谷田部交流センター 第2回 9/24（火） 子育て総合支援センター
⑦イベント等への共出展	すくすく子育てフェスタに出展（SDGsブースと共同出展）	パネル等の展示及び意見箱の設置	6/8（土）、6/9（日） イーアスつくば

発行日：令和元年11月

編集・発行：つくば市 政策イノベーション部 企画経営課

◆市長と大学生がまちづくりを語る会が開催されました！

つくば市では、今後10年間の総合的な指針である未来構想の策定にあたり、市長と筑波大学学生の皆さんがまちづくりについて意見交換をする懇談会を開催しました。

市長と筑波大学学生との懇談会の連携企画として開催された今回は、筑波大学学生の皆さんから貴重な意見をたくさんいただいたのでご紹介します。

日時：令和元年9月30日（月）18:00～20:30

会議場所：筑波大学学生会館レストランプラザ 筑波デミ

参加者：33名（事務局含まず）



◆主な意見交換内容

1. 市長から大学生への質問

市長から大学生の皆さんに「つくば市に住みたい？」と質問が投げかけられ、大学生の皆さんから市長に生の声が伝えられました。

● つくば市に住みたい

- ・ 筑波スタートアップパークなどで盛り上がり、シリコンバレーのような未来を期待する。ベンチャー企業を立ち上げたいと考えている。
- ・ 駅前で交流会などがあり活気がある。東京は人が多いが、つくばから電車で通勤できる。
- ・ 東京で買物するのが好きだが、家賃が高いのでつくばに住む。

● 条件次第でつくば市に住みたい

- ・ 博士課程でセンサーの研究をしているが、市内に就職先がない。就職先があれば市内に住みたい。
- ・ 来年から東京の会社で働くことになった。東京はストレスが多いが、つくばは豊かな生活ができる。葛藤がありつつ、東京しか希望の会社がなかった。将来起業すれば、つくばに戻ってくる選択肢はある。
- ・ 兵庫の淡路島出身だが、神戸に通勤する場合は住宅補助が出る。TXは運賃が高いので、つくば市でも住宅補助があれば定住人口が増えるのではないかと。東京はキラキラしているイメージがあり働きたいまちである。

● 東京に住みたい

- ・ 社会人になったらマリンスポーツを始めたいと考えているが、東京はコミュニティやサークルに多様性があり、魅力的である。
- ・ 東京は、文化的に豊かであり、住みたいと思う。小さい映画館や書店、コンサートなど、東京にしかない文化資本が魅力である。
- ・ 医者を目指しているが、東京では成長できる気がする。東京で働き学びたい。また、教育環境も高いレベルにあり、子どもも切磋琢磨し人脈を広げながら成長できるため、将来も東京に住みたい。



◆お問合せ◆つくば市役所 政策イノベーション部 企画経営課

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1 TEL 029-883-1111/FAX 029-828-4708

*未来構想に関する質問・意見は、政策イノベーション部企画経営課のメールアドレス（pln010★city.tsukuba.lg.jp）まで（なお、メールアドレスの★は、@記号に置き換えて下さい）

2. テーブルワーク

- ・ 交通網の発展を期待する。例えば、つくばから水戸に行く電車があるとよい。
- ・ TXで東京に行くことが前提になる。つくばに友達が来て遊ぶ時は、つくば山くらいしか見所がないため、家で過ごすことになる。つくばで遊べる場や仕事の場があるとよい。
- ・ 今は科学のまちだが、例えばパンづくりやペットに詳しい人など、みんなが先生になりコラボレーションできるような開かれたまちになってほしい。USJはかつて映画専門だったが、総合エンタメに転換しV字回復した。
- ・ つくばは車がないと不便だが、子育てにはよいまち。また、完成されたまちではないため、市民に開かれアイデアをまちづくりに活かせるところがよいまちである。
- ・ スタートアップパークだけでは、人は集まらない。東京には大企業があるが、つくばに誘致しないのか。



3. 大学生から市長への質問

大学生の皆さんから市長へ質問や意見をいただきました。また、いただいた意見に対し、市長から今後のつくばのまちづくりについてお話いたしました。

大学生からの主な質問・意見（一部）

- ・ 政策を継続していくためには、市長が選挙に勝ち続ける必要があるが、市民が求めることとの違いは感じるか。
- ・ つくば市は、何もなかった場所に都市がかぶさってきた。畑などが広がる周辺市街地の奥などは中心部と考えが違ふと思うが、バランスをどうとっていくか。
- ・ ビジョンはカッコいいが、来年、再来年の事業として何ができるか。
- ・ 市長の情熱の源は何か。
- ・ 比較すべきなのは土浦や千葉県内の都市であり、東京ではない。まちが発展するにつれ、つくばのオリジナリティがなくなる。ライバルと考える都市はどこか。
- ・ つくばには昼間からお酒を飲んでいるような人がおらず、近寄りたたいイメージがある。多様性を受け入れるまちになってほしい。
- ・ 一人一人ができることは何か。まちづくりにどう関わっていけばよいか。

市長の回答・意見（一部）

- ・ 市長が誰であっても、世界から注目されるまちであってほしい。選挙に負ければ何もできなくなるが、市民が求めていると信じている。
- ・ 真ん中ばかり、科学技術ばかりと言われることもある。例えばセグウェイは周辺の人の方の需要があると考ええる。便利さがわかれば、時間はかかるが理解してもらえと思う。徐々に認識のギャップが縮むと思う。
- ・ スマホで事業にインターネット投票できるようにする。学生の投票率が上がると期待する。
- ・ つくばが好きである。ロンドンやパリに並ぶまちになれると思っている。つくばには国費も投資されており、人類の発展に貢献する使命をもったまちだと認識している。
- ・ 土浦からの昼間人口流入は地域の発展にはつながらない。流山市は「母になるなら流山」として子育て世代をひっぱり成功している。流山市とつくばはお互いを意識している。
- ・ 多様性を大事にしなが、人口を維持したい。色々な人がいないまちは朽ちていく。障害のある方も含め、社会は多様でなくてはならない。色々な人を呼び込んでいきたい。
- ・ つくばSDGSパートナーに加入して関わり方を見つけてほしい。SNSなどでつぶやき、思いをシェアして少しずつ広がっていけばよい。

アンケートの自由意見

- ・ つくば市に住んでいながら、つくば市への所属意識があまりなかった。今回参加して、より身近に感じだし、とても良い経験になった。
- ・ 学生から出た、まちのブランディングが「科学」に偏重しているという指摘は、文系学生として共感した。
- ・ Question drivenの教育を実現するための具体的な施策をもっと教えてもらいたかった。個人的には、「官民連携」が教育改革のカギとなるのではないかと考えている。
- ・ つくばがNYなどと並ぶのも素敵だと思うが、ほかの地域ともwin-winな未来があるといいと思った。



市長が登場！まちづくりトーク in イーアスつくば

タウンミーティング
×
未来構想キャラバン

発行日：令和元年11月

編集・発行：つくば市 政策イノベーション部 企画経営課

◆市民の皆さんに市長がまちづくりについて語る公開トークを開催しました！

つくば市の取組や現在策定中の「つくば市未来構想」について市長が語り、あわせて、まちづくりアドバイザーの山崎満広氏も登壇して、ポートランドのまちづくりについて紹介するとともに、市長とトークを行いました。

また、会場内のみなさんにお聞きした「2030年の未来像」を紹介するとともに、参加者の皆さんと意見交換しました。

日時：令和元年10月20日（日）15:30～17:00

会議場所：イーアスつくば 1階センターコート

参加者：約100名（事務局含まず）



◆主な意見交換内容

1. 2030年のつくば市への期待について



前半の市長によるつくば市の取組紹介や、山崎氏によるポートランド市の事例紹介などを受けて、参加者の皆様からご質問や、2030年のつくばの未来像について多くのご意見をいただきました。

(1) 安全な道路交通について

- ポートランドに5年住み4年前につくばに引っ越してきたが、豊かな街のベースの一つは安全だと実感している。
- つくば市でも安全な街づくりを実現するため、警察とも連携しながら、混雑する幹線道路では右折を禁止する等の対応をして事故や渋滞を減らしてほしい。
 - 地域の皆さんで考えてもらうことはよいことである。ポートランドでは、街の中で豊かな生活をしたいから高速道路は不要だと住民が意思決定している。



(2) マイカーと公共交通の共存について

- ポートランドで駐車場を廃止して大規模な公園にした話が興味深かった。
- つくば市は車社会であり、自家用車や駐車場がなければ生活できない。また、公共交通もまだまだ問題が山積みだが、ポートランドのようになるのが理想ではないかと考える。
 - ポートランドは車社会だが、街の中心部には公共交通で行ける。空気もきれいで安全な街になる。
 - 本気でつくば市を自転車社会に変えていきたい。



◆お問合せ◆つくば市役所 政策イノベーション部 企画経営課

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1 TEL 029-883-1111/FAX 029-828-4708

*未来構想に関する質問・意見は、政策イノベーション部企画経営課のメールアドレス（pln010★city.tsukuba.lg.jp）まで（なお、メールアドレスの★は、@記号に置き換えて下さい）

(3) 地産地消の推進について

- 地産地消を推進するならば、市役所内のレストランでつくば市産の食材を使った料理を提供し、市内で美味しい食材が獲れることをアピールしてほしい。
- 現在、レストラン経営の契約更新時期を迎えており、つくばの食材を使ったメニューを増やすことを事業者選定の公募条件にしたい。



2. アンケートの主な自由意見

■ まちづくりトークについて

- ポートランド市の取組が参考になった。
- つくば市と自分の未来を考えるきっかけになった。
- つくばの将来を知りたいので、今後も開催してほしい。
- このような場所で開催することは大切だ。
- つくば市の様々な課題を共に考えていきたい。
- 外国から移ってきたが、これからつくばがどう進んでいくか期待している
- より沢山の人に聞いてもらう工夫をしてほしい。
- 話の背景が市民に伝わっていないように感じた。
- 市長や講師の話が長く、一方通行だった。



■ これからのまちづくりについて

- 運転ができなくなった高齢者のことを考えて、公共交通を増やしてほしい。
- 未来に向けたキラキラした目標も良いが、まずは住民の環境を整えることを優先してほしい。
- ポートランドでは運転マナーが良いので安心して暮らせていたが、つくばでは土日に車で外出することを控える程である。
- 駅から歩いて行ける公民館があるとよい。
- 運動公園や、雨天型イベント会場が欲しい。例えば、水戸の芸術祭には沢山の人が訪れる。芸術に対する人々の意識の高さを感じる。それもひとつの豊かなまちだと思う。
- 筑波には勢いが必要。茨城県をリードするまちになって欲しい。やりましょう！一緒に。

■ 市民参加について

- 市民がやることを「市」がいかにサポートするか。最初は「市」主体のスタートとなるかもしれないが、将来的には市民が市を呼べるようになるとうい。
- つくばも将来、ポートランドのように市民の力で変えることができればよい。
- ポートランドは好事例だと思うので、ぜひ市民が変わっていかねければと思う。
- 高校生が気軽に参加できるイベントをもっと開催してほしい。

■ その他

- 若者の海外志向が衰えていることも課題。
- 「庁舎でマイボトルを使い、ペットボトル・缶の飲み物を使わない」ことを、ぜひ全ての会議やイベントで実行してほしい。



第 8 回つくば市未来構想等審議会 専門部会議事要旨

日 時 : 令和元年 10 月 18 日 (金)、21 日 (火)

場 所 : つくば市役所 5 階 庁議室

出席者 : つくば市未来構想等審議会委員 A 班 10 名

つくば市未来構想等審議会委員 B 班 12 名

※基本施策・個別施策の名称は、第 8 回審議会時点の名称。

未来構想キャラバンの開催報告

No.	発言者	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
1	北本委員	P42 研究者を対象としたつくば市内研究機関に在住・在勤の方向けのキャラバンにて参加された研究機関、及び役職について伺いたい。	■ 1 回目に開催された研究者向けキャラバンは、総会及び理事会にて開催されたため、企業内の上層部の方を対象とした。2 回目に開催されたキャラバンは、役職等にこだわりなく、研究機関に在勤する方で参加応募された方を対象とした。	—

I-1 市民共創によるまちづくりを推進する について

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
2	永井委員 I - 1 - ① 地域活動及び新たな市民チャレンジへの支援	相談窓口は地区相談センターも維持しつつ検討しているのか。既存の相談窓口とは別に設けるのか。地区相談センターを相談しやすい環境に整えてほしい。	□ 今ある地区相談センターとはまた別途、つくば市の中で市民の新しい取り組みを応援する窓口を設ける。(毛塚副市長)	地区相談センターの機能を維持しつつ、チャレンジ相談窓口の設置を行う。
3	永井委員 I - 1 - ② 区会加入及び新規区会設立促進と活動支援	つくば市の区会以外のコミュニティの在り方がイメージしやすい施策にしてほしい。	—	チャレンジ相談窓口では、任意の団体や人の活動もサポートできるようにする。
4	桜井委員 I - 1 - ② 区会加入及び新規区会設立促進と活動支援	旧村の行事をなくさないため、新規住民の取り込み方を検討する必要がある。	—	I - 3 - ② 地域の資源を活かした持続的な周辺市街地の振興 主要プロジェクト ① 地域主体のまちづくり体制の構築推進 において、域外の“市民”と追加した。

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
5	永井委員 I-1-③ 市民参加の推進	指標1 審議会等に参加した市民委員の満足度を向上させます。について、意見を言えるという指標は採用しないほうが良いと思う。	—	「市民委員を募集した附属機関及び懇談会等の割合を100%します。」と変更した。
6	西委員 I-1-③ 市民参加の推進	指標1 審議会等に参加した市民委員の満足度を向上させます。について、意見を言えて満足したという指標は、主観的なため、キャラバンなどの参加数など定量的な指標を採用したほうが良い。	—	「市民委員を募集した附属機関及び懇談会等の割合を100%します。」と変更した。
7	林委員 I-1-③ 市民参加の推進	指標1 審議会等に参加した市民委員の満足度を向上させます。について、市民意識調査を目標指標として掲げるよりも、定量的な指標を検討したほうが良いと思う。	—	「市民委員を募集した附属機関及び懇談会等の割合を100%します。」と変更した。
8	神谷委員 全体	全体的に、指標の設定、目標の根拠はどのようにしているか。	□今回の未来構想で新しい指標を多く採用しているため、中間評価を行う過程で再度見直すことが想定される。(毛塚副市長)	今後対応する。
9	永井委員 I-1-① 地域活動及び新たな市民チャレンジへの支援	相談窓口は地区相談センターも維持しつつ検討しているのか。既存の相談窓口とは別に設けるのか。地区相談センターを相談しやすい環境に整えてほしい。	□今ある地区相談センターとはまた別途、つくば市の中で市民の新しい取り組みを応援する窓口を設ける。(毛塚副市長)	地区相談センターの機能を維持しつつ、チャレンジ相談窓口の設置を行う。

I-2 資源を活用し、魅力あふれるまちをつくる について

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
10	北本委員 I-2-① 新たな産業・技術を生み出す素	一般論として、既存の主要PJを継続するか否かの判断をこの審議会に求められているとすれば、これまでの	■主要PJについては目的を果たすものとして位置付けている。評価については毎年行政評価を行	個別施策の評価については、行政経営懇談会という外部組織で実施し、当審議会でも報告している。施策

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
	地のあるまちの推進	成果等プロジェクトを評価するための材料が必要であるが、それがこの審議会には与えられておらず、判断のしようがない。そのような評価は別のところでされているのか。 また、既存のプロジェクトが多い印象である。	い、公表している。	に紐づく事務事業については内部評価を行い、その結果を HP で公表しているのので、改めて当審議会では扱わない。
11	市川委員 I-2-② つくばらしい豊かな農資源を輝かせることによる魅力の創出	P23「地酒(日本酒等を含む)」という表記は「日本酒」と変えて良いのではないか。	■いただいたご意見を基に修正を検討する。	表記を変更し、日本酒を先に明記した。
12	村上委員 I-2-② つくばらしい豊かな農資源を輝かせることによる魅力の創出	P23 指標について、母数は1000市町村のアンケートで間違いないか。また、現在設定している目標とは別に高い目標を検討したらどうか。	□後日担当課から返答する。(WT)	目標値を上げることも検討したが、代替指標として「つくばコレクション認証制度でのつくば市産の農産品を原料に使った認証品数を増やします。」に変更した。
13	桜井委員 I-2-③ つくばの資源を活かした観光の振興	つくば市の中の観光資源をどのように活かしたいかという考えはあるか。 また、科学技術を観光という観点で活かす活動を行っているのか。	□例えば筑波山は体験型観光回遊性について評価をしたいと考えている。(WT) □修学旅行の一環で、サイエンスツアー等の取り組みを実施している。(WT)	「校外学習や修学旅行の誘致を実施」について追加した。
14	山海委員 I-2-③ つくばの資源を活かした観光の振興	高校生の修学旅行の訪問先として CYBERDYNE と JAXA が組まれている例が複数あり、科学技術に触れる機会を増やすには同様のことが重要であると考えている。	—	「校外学習や修学旅行の誘致を実施」について追加した。
15	部会長 I-2-③ つくばの資源を活かした観光の振興	旅行者の目的に合わせてつくば市への宿泊を促す取り組みを行う必要があると	—	宿泊するためには滞在時間を延ばす必要があり、体験型観光等により回遊性を

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
	かした観光の振興	思う。		強化したい。
16	市川委員 I-2-③ つくばの資源を活かした観光の振興	市民に対し、ジオパーク認定や日本夜景遺産認定について周知されていない現状があるため、PR活動が重要であると捉えている。ジオパークや夜景認定に関する文言を記載していただきたい。	□主要プロジェクトの中でジオパーク認定及び、日本夜景遺産認定に関する文言を記載する。(WT)	「筑波山地域ジオパークや日本夜景遺産の認定等」について追加した。
17	山海委員 I-2-③ つくばの資源を活かした観光の振興	つくばエキスポセンターは、過去文部科学省所管の施設であったが、今回の未来構想でつくば市との連携事業として検討してみてもどうか。	□現在、公益財団法人が運営している状況であり、前向きにつくば市との連携を図りたいと思う。(政策イノベーション部長) □つくば駅周辺で科学技術に触れられる場所を検討したいと思うため、つくばエキスポセンターに関する記述を未来構想の中で検討したいと思う。(毛塚副市長)	I-3-① 緑豊かで魅力ある研究学園都市地域の推進 主要プロジェクト① 科学技術を取り入れたまちづくりの推進 において実施する。
18	宇津野委員 I-2-④ 文化財の保存と活用及び文化芸術の推進	P27 文化芸術の振興という観点で、教育委員会の方で予算をとっていただき、校外学習等の場で地元の子供たちに演劇、音楽等を鑑賞する機会を与えてほしい。	—	「音楽や演劇に触れる場を提供」について追加した。
19	部会長 I-2-④ 文化財の保存と活用及び文化芸術の推進	P26 指標1の満足度について再度ご検討していただきたい。	—	「文化財展示施設(5施設)の利用者数を増やします。」に変更した。
20	宇津野委員 I-2-⑤ スポーツでつながるまちの推進	P29 今後5年以内に建設される予定の施設があれば、それらの施設に関する記述を検討したほうが良い	□主要プロジェクト④で記載している。(WT)	—

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
		と思う。		
21	林委員 I-2-⑥ 空き家の有効活用の推進	P30「空き家」という内容が浮いているように見える。空き家のみならず、民間の遊休資産については検討の対象外となるのか。	<input type="checkbox"/> 空き家は個人所有のものとして定義づけており、空き店舗等についても対象とする。(WT)	空き家や空き店舗と併記した。

I-3 つくばならではの街並みや体験に出会えるまちの創出 について

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
22	部会長 I-3-① 緑豊かで魅力ある研究学園都市地域の推進	ソフトの内容を入れたことで、他の施策と内容が被るのではないか。	<input type="checkbox"/> ソフトに限ったことではなく、総合的なまちづくりの内容を記載している。(WT) <input type="checkbox"/> 中心市街地の活発な活動を意図して、科学技術に関する文言を記載している。(毛塚副市長)	主要プロジェクトにセンタービルや公務員宿舎の内容を追加した。
23	桜井委員 I-3-① 緑豊かで魅力ある研究学園都市地域の推進	東西南北大通りを対象とした中心市街地の取り組みを検討しているのか。	<input type="checkbox"/> 未来構想のなかではそのように位置付けている。(WT)	—
24	桜井委員 I-3-① 緑豊かで魅力ある研究学園都市地域の推進	中心市街地として位置づける場所を再検討していただきたい。	—	—
25	山海委員 I-3-① 緑豊かで魅力ある研究学園都市地域の推進	中信地区の不動産は街づくりには重要。エリア全体の取り組みを今一度見直してほしい。TX のつくば駅、研究学園駅から連続的に展開される場づくりを推進してほしい。	—	IV-3 市民のために新技術等の導入を促進するとあわせて検討する。

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
26	村上委員 I-3-① 緑豊かで魅力ある研究学園都市地域の推進	P33「パブリックスペースを活用した街の魅力向上」について、公共空間のなかで、勉強や休憩を目的として集まり、賑わう空間があると良いと思った。	—	主要プロジェクトに記載している。
27	部会長 I-3-① 緑豊かで魅力ある研究学園都市地域の推進	土浦の図書館を見本とした、賑わう公共空間があるとよいとおもう。	—	図書館のあり方とあわせて検討を行いたい。
28	宇津野委員 I-3-① 緑豊かで魅力ある研究学園都市地域の推進	P36 駅前に無料利用の駐車場を提供できれば、中心市街地の賑わいを創出することができると思う。	—	現状では対応が難しい。

I-4 シティプロモーションの推進 について

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
29	部会長 I-4 シティプロモーションの推進	つくば市の魅力を一言でいうと何か。	□一人一人が自分の時間を持って、各々が思う、生活を送ることが出来るまちであると思う。(WT)	—
30	山海委員 I-4 シティプロモーションの推進	つくば市を一言で表現するのは難しいかもしれないが、未来を先取りした科学技術等が実際に活用されている街としてアピールできるようにすべきかと。	—	—
31	永井委員 I-4-② 市内外へ向けたPRの推進	つくば市に住んでいる私たちがつくば市を誇りに思うことはまた別の話だと思う。新しい地域の学校が不足していること、科学技術に期待してみどり野に住み始めたのに、生活が不便と感じている人がいるという問題が起きている。	—	—

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
32	山海委員 I-4-② 市内外へ向けたPRの推進	良質な教育を理由に、つくば市への移住を決める方が増えている。小中学生の教育に力を入れていくとよいと思う。	<input type="checkbox"/> 愛着という指標を伸ばす取り組みを今後検討してほしい。(部会長)	教育分野の施策であわせて対応していきたい。

II-1 地域での支え合いやつながりの推進と医療、介護、福祉の充実したまちを目指す について

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
33	門協委員 全体	全体を通して、英語表記を日本語表記にする必要があるのではないか。また、専門的な用語が頻繁に使用されているため、注釈を用いることはできないか検討してほしい。	<input checked="" type="checkbox"/> 英語等の横文字表記に関しては、極力使用しない方向で修正を行う。使用が避けられない箇所に関しては、注釈を使用することを検討する。 <input type="checkbox"/> 注釈を使用する際は、当該ページの下に記載することを検討してほしい。(委員)	戦略プラン全体として対応する。
34	門協委員 II-1-① 世代や分野を超えた地域の居場所づくりの拡充	P41 以降については、人とのつながりが希薄になっていることを感じさせる表現が使われており、地域コーディネーターの養成を政策の一つとしてあげる必要があるのではないか。	<input type="checkbox"/> 現在、民生委員や区長を中心として生活支援体制整備事業を行い、生活支援コーディネーターを設置している。その方を中心として勉強会を実施し、地域の支え合いを作っていく予定である。(WT)	—
35	門協委員 II-1-① 世代や分野を超えた地域の居場所づくりの拡充	民生委員や区長にはそれぞれ役割があるため、地域の支え合いを作ることに専念してくれる方を養成する必要があるのではないか。 新住民が増加傾向にある状況を踏まえ、そのような人たちが属することが可能なコミュニティを作る必要があるのではないか。	<input type="checkbox"/> 勉強会等を通して広めていく。(WT) <input type="checkbox"/> 検討します。(WT)	—

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
36	山本委員 Ⅱ-1-① 世代や分野を超えた地域の居場所づくりの拡充	地域リーダーは有償になるのか、ボランティアが前提になるのかについてお聞かせ願いたい。人手不足の現状を踏まえるとシニアの方の参加が必要ではないか。 また、シニアの方の参加を促すためには有償にすべきではないか。	<input type="checkbox"/> 現在のところ有償は想定していないが、ボランティアポイントの活用等は視野に入れている。(WT) <input type="checkbox"/> 貴重なご意見ありがとうございます。(部会長)	市民活動課で実施している地域リーダーを対象としたファシリテーション講座等を主要プロジェクトに追加する。有償化は対応が難しい。
37	小原委員 Ⅱ-1-① 世代や分野を超えた地域の居場所づくりの拡充	民生委員の方には肩書欲しさの方がおり、会合においてもまともな意見が得られないことがある。そのような現状を踏まえ、地域リーダーは有償にする必要があるのではないか。荃崎では、会議に出席した人には少額ではあるが交通費を渡すことで出席率が上がったといった実績もあるため参考にしてはどうか。	<input type="checkbox"/> 様々な先進的な例があるので、いいシステムを取り入れてほしい。(部会長)	有効な事例として参考にさせていただく。
38	門脇委員 Ⅱ-1-① 世代や分野を超えた地域の居場所づくりの拡充	つくば市のモデル都市の一つであるアメリカのポートランドでは、ネイバーフットアソシエーションという組織を作っている。どのような人たちで構成されているのか参考にしてほしい。	—	有効な事例として参考にさせていただく。

Ⅱ-2 人生100年時代に生涯いきいきと暮らせるまちを目指す について

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
39	中嶋(信)委員 Ⅱ-2-① 一人ひとりの運動、食育などこころと体の健康づくりを支援	会社に勤めている若者の多くは買ったものを食べており、会社や企業販売にアプローチする仕組み作りを行う必要があるのではないか。	<input type="checkbox"/> 検討します。(WT)	対象者に職域を追加した。(地域・職域連携は将来的には必要な分野であるため)
40	山口委員 Ⅱ-2-② 趣	社会参加の環境整備の指標としての生涯学習センタ	<input type="checkbox"/> 検討します。(WT)	委員のご意見の通り、狭義な指標であるため、市民全

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
	味や健康づくり活動、ボランティア活動などの社会参加の環境整備	一の参加者の増加をあげているが、社会参加という意味では生涯学習センターのみだけではなく多岐にわたるのではないかと。市民意識調査での項目を参考にすべきではないかと。		体的な活動の図ることのできる「地域交流センターに登録されているサークル数」を指標とした。
41	門脇委員 Ⅱ-2-② 趣味や健康づくり活動、ボランティア活動などの社会参加の環境整備	今回新しく追加した生涯にわたる学びの場の提供に関して、アピールする箇所を増やすべきである。生涯学習推進課と連携して進めてほしい。	□検討します。(WT)	生涯学習推進課で行っている出前講座を追記した。

Ⅱ-3 地域や市民一人ひとりの備えを後押しするまち について

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
42	中嶋(修)委員 Ⅱ-3 地域や市民一人ひとりの備えを後押しするまち	台風19号による被害状況を教えてほしい。 また、非常時に配信される緊急メールに記載されていた避難場所が、日ごろ訓練を行っている場所ではなかった。そのような現状を踏まえ、未来構想においては常に現実対比を行い、我々の生活に直接影響のある活動を行ってほしい。	□避難所を15カ所開設、避難者総数は約900人であった。また、床下浸水が数カ所、ペット同行可能な避難所を2カ所開設、道路の灌水による通行止めが数カ所、街路樹の倒木が30カ所以上であった。また、防災無線が聞こえないといった意見も得られており、災害時における情報伝達の環境づくりが今後の課題である。(飯野副市長)	台風19号の教訓をいかしていく。また、Ⅱ-3-①について公序を中心とした内容とし、Ⅱ-3-②について共助、自助を中心とした内容に組み替えた。
43	山本委員 Ⅱ-3-① 災害に備えた市の備蓄の推進	台風19号の被害により、避難所の選定見直しや検討の改善が行われることが考えられるので計画の中に記載すべきではないかと。	□台風の状況を踏まえ、項目の追加を検討する。	プロジェクトの実施の際に反映させたい。

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
44	山口委員 Ⅱ-3-① 災害に備えた市の備蓄の推進 Ⅱ-3 地域や市民一人ひとりの備えを後押しするまち	P56 市の備蓄の推進において掲げている目標は志が低いのではないか。避難の質を高めるような指標を表せるのではないか。 P55 の全体の施策の指標について、防犯の面で犯罪件数等を用いることは難しいのか。犯罪は減少傾向にあったとしても、さらなる減少を目指すといった意欲的な数字指標でもよいのではないか。検討してほしい。	<input type="checkbox"/> 犯罪・自転車盗難の認知件数は把握しており、減少傾向にあるが可能である。(WT)	指標の変更も検討したが、現状のままとしている。 また、基本施策の指標については、検討の結果、「地域の住民が協力して行う防犯活動へ参加している人の割合」とした。
45	飯野委員 Ⅱ-3-② 災害に備えた自宅の安全対策や備蓄の推進	防犯灯の設置について、計画通りに進めている認識でよいか。設置の必要箇所が増えているのではないかと。指標に記載しなくとも、方向性のみ記載してほしい。	<input type="checkbox"/> 計画的に進めている。(WT) <input type="checkbox"/> すでに目標数は設置済みであり、今後 8 年で 2200 機程度設置予定である。(WT)	現状のうまくいっている点に追加した。
46	山本委員 Ⅱ-3-③ 防犯意識を高め、安全・安心を実感できる生活環境づくり	ジョギングパトロール事業を主要プロジェクトから外したのは指標を立てにくいからか。ジョギングパトロールが開始された経緯や他市町村における実績を考えると、ジョギングパトロールは効果的であると思うため記載の検討をしてほしい。	<input type="checkbox"/> 効果を測ることが難しいためであるが、継続的に続けていく予定である。ジョギングパトロールについても指標の記載は難しいが掲載を検討する。(WT)	指摘を踏まえて主要プロジェクトとして残している。
47	生田目部会長 Ⅱ-3-③ 防犯意識を高め、安全・安心を実感できる生活環境づくり	ジョギングパトロールについて、ビブスの配布数で把握することは可能であるか。	<input type="checkbox"/> 配布数と実際の使用数との整合を図ることが難しい。(WT)	指摘を踏まえて主要プロジェクトとして残している。
48	門脇委員 Ⅱ-3-③ 防犯意識を高め、安全・安心を実感できる	ジョギングパトロールは効果的であると思うため延べ人数だけでも記載を検討してほしい。	—	指摘を踏まえて主要プロジェクトとして残している。

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
	生活環境づくり			
49	山本委員 Ⅱ-3-④ 災害時における公共施設の機能維持を図る	つくば市の避難所はすべて学校施設であるため、地域との連携による学校防災力強化推進事業について、関連担当課のところに教育委員会の名称を記載すべきである。	—	「施設所管課」という表記に含まれていると考えている。

Ⅱ-4 公共施設やインフラのマネジメントを推進する について

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
50	門脇委員 Ⅱ-4全体	バリアフリー、ユニバーサルデザイン、ネーミングライツといった極めてわかりにくい表現が多いので、日本語に変更可能な部分は変更し、出来ない所は注釈を入れるべきであることを改めてお願いしたい。	□変更する。(WT)	戦略プラン全体において、可能な限り対応する。
51	山本委員 Ⅱ-4 公共施設やインフラのマネジメントを推進する	理想と現実の違いが一番大きく出る部分であると思っているため、状況を市民の方にしっかり見える化を図っていくことが重要であると思う。 P60 指標 1 について、5 年間で状況の更なる悪化が予想されるが、この数字がマックスであるのか。 期限が定められている計画については、作るということで精査する必要があるのではないか。	□今年度中に個別計画を作成することが求められているが、個別計画を進めるにあたり全体的な方針が定まっていないことが現状である。そのため、とにかく数が多くて利用者が多い所として 10 という数字を挙げているが 10 でいいわけではないのでさらなる検討を行う。(WT)	各施設における計画ではなく、施設分野別の計画であるため、5 計画の増加としている。
52	中嶋(信)委員 Ⅱ-4 公共施設やインフラのマネジメントを推進する	つくば市の財政事情については市民の方はほとんど知らないため、公共施設の集約は大変であるということを市民に伝わるような方策をプロジェクトとして考	□市民との合意形成は必要であると思うため、市民への情報公開・周知を図っていく。また、つくば市は公共施設白書を毎年作っており、HP等に掲載し市の	Ⅱ-4-① 主要プロジェクト④を「公共施設及びインフラのデータベースの導入と公表」と

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
		える必要があるのではないか。 策定した計画が反対され潰れる可能性があるのではないか。	更新にかかる費用の詳細について記載してある。方法が足りないというご指摘もあるためもう少し検討したい。(WT)	し、市民への情報周知を図る。
53	生田目部会長 Ⅱ-4 公共施設やインフラのマネジメントを推進する	市民理解の獲得に向け、公共施設やインフラマネジメントを進めるといったことをプロジェクトとして記載することは可能であるのか。	□細かい話になってしまうと他の計画とのバランスを考え設定する必要があるが、重要だとは考えている。(WT)	Ⅱ-4-① 主要プロジェクト④を「公共施設及びインフラのデータベースの導入と公表」とし、市民への情報周知を図る。
54	山本委員 Ⅱ-4 公共施設やインフラのマネジメントを推進する	市民との合意ができず計画が進んでいない自治体が増えている状況の中で、集約するというだけでなく、これから限られた財源の中で施設を拡充しなければいけない部分、縮小しなければいけない部分を真剣に考える必要がある。詳しい内容は載っているとしても、一般の人達には理解できる内容ではないため、どうわかりやすくかいつまんで見せていくのかということが自治体の市民に理解してもらおうというものの本気度であり、ここが自治体の大きな課題であると思う。	—	Ⅱ-4-① 主要プロジェクト④を「公共施設及びインフラのデータベースの導入と公表」とし、市民への情報周知を図る。
55	山口委員 Ⅱ-4-③ 保有資産の適正化	公園等の整備に関して公共施設を集約させるが充実させていくという概念が浸透していないと感じ、整備が追いついておらず利用されていない現状を踏まえると、4班が取り込もうとしている公共施設を集約させるがその分充実させていくといった考え方や整合性を持たせるような形にしていくべきではないか。	□他の班においてもインフラの話は出てきており、まずは計画づくりをきちんと進めていかないといけないと思っているため担当チームに意識の浸透を図っていく。(WT)	—

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
56	横田委員 Ⅱ-4-③ 保有資産の適正化	公共施設の集約について、現状を見ると集約、複合化の指針を作る事に重きを置いており、その後についての記載が薄いと感じる。廃校等は集約化しても残る可能性があるため意識して述べるべきではないか。	□検討する。(WT)	Ⅱ-4-② 保有資産の有効活用の推進のプロジェクト⑤等において、廃校等の既存施設の活用を進めていく。

Ⅱ-5 身近な自然を守り、楽しみ、持続させていくまち について

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
57	小原委員 Ⅱ-5-① 身近な自然を楽しむ環境づくり	筑波山は年々きれいになっているが、お手洗いはきれいとはいいいがたく、商店街も元気がない状態である。	□お手洗いは観光推進課と協力し、今後きれいにするべきであると考え。また、商店街については認定商品の作成による付加価値を持たせ、発展を図っていく。(WT)	観光分野と連携して進める際の参考とさせていただく。
58	横田委員 Ⅱ-5-② 自発的な保全活動の推進	P70 個別施策の取組みについて、「わからない」と回答する人に焦点を当てているが、主要プロジェクトにおいては、すでに行っている人を対象にしているものが多い印象がある。	□現在、調整中であり、プロジェクトに合った指標として再検討する必要があると考える。①の施策を推進することで、結果的に「わからない」と回答する人が減るのではないかと考えている。(WT)	「環境を守る活動に参加している人の割合を増加させます。」に修正した。
59	中嶋(信) Ⅱ-5-② 自発的な保全活動の推進	子どもや中学生高校生が環境活動へ参加するための時間を作つてあげる必要がある。夏休み等を利用した仕組み作りを行わなければならないのではないか。	□検討する。(WT)	主要プロジェクト①に「活動の認知度を高め、参加者を増加させる」内容を追加した。
60	山本委員 Ⅱ-5-② 自発的な保全活動の推進	市民意識調査のアンケート項目の内容について教えていただきたい。 保全活動の参加率や、普段の生活の中でつくば市の自然環境を守るような行動をしているか等の具体的な	■平成29年度に実施した市民意識調査においては、現在の戦略プラン、個別施策について聞いており、その中のひとつとして自然環境や資源の保全活用について5つの選	「環境を守る活動に参加している人の割合を増加させます。」に修正した。

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
		指標した方がいいのではないかと。また、実際に現地を訪れることでより自然を身近に感じることができるので、指標については再検討してほしい。	択肢で満足度を測っている。	
61	門脇委員 Ⅱ-5-② 自発的な保全活動の推進	筑波山において、探検をベースにした取組にも必要になってくるのではないかと。牛久沼について、記載がないため1・2カ所程触れる必要がある。	—	主要プロジェクト② 体験型の身近な環境教育事業に「探検をベースとした」文言を追記した。 Ⅰ-2-③つくばの資源をいかした観光の振興 主要プロジェクト体験型観光の推進において「筑波山や牛久沼等の自然体験(アウトドア)」と追記した。
62	横田委員 Ⅱ-5-② 自発的な保全活動の推進	指標を変えるのであれば、「わからない」と回答する人の割合を低くするのではなく、「満足」に着目し、これを上げるような指標にする考えもあるのではないかと。	—	「環境を守る活動に参加している人の割合を増加させます。」に修正した。
63	飯野委員 Ⅱ-5-② 自発的な保全活動の推進	市民意識調査の設問をもっとシンプルにする必要があるのではないかと。	■検討する。	次回以降の市民意識調査において改善したい。

Ⅲ-1 子どもも親も楽しく育つ環境をつくる について

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
64	小原委員 Ⅲ-1 子どもも親も楽しく育つ環境をつくる	子どもとは小学校に入っていない子どもを対象にしているのか。	□6 班では未就学児を対象としている。(WT)	—
65	山本委員 Ⅲ-1-① 子どもを安心して産み育てられる環境整備	「育てにくさ」について、何をもち「育てにくさ」と感じるのか教えてほしい。	□1 才半・3 才検診の際に同じ質問を行っており、そのひとつの指標としてこの表現を用いている。(WT)	「子育てに不安を感じたときに対処できる親の割合を増加させます」と修正した。

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
66	飯野委員 Ⅲ-1-① 子どもを安心して産み育てられる環境整備	子育てに不安を持つ親の割合を減らすということではないのか。	□「子育てに不安を感じる ことがありますか」といった 設問では、子育て自体が 誰もが不安を感じてしまう ものであるため、育てにく さと記載している。全国一 律の質問であるので、表 現は変えることはできな い。(WT)	「子育てに不安を感じたとき に対処できる親の割合を増 加させます」と修正した。
67	門脇委員 Ⅲ-1-① 子どもを安心して産み育てられる環境整備	P73「気になる親子」につ いて、具体的に記載する必要 があるのではないかと。	□書き方を変更する。 (WT)	「心身の発達や育児環境 等が気になる親子」として 修正した。
68	山本委員 Ⅲ-1-① 子どもを安心して産み育てられる環境整備	P72 指標の選定理由につ いて、よりわかりやすい文章 への変更を検討してほしい。	—	「子育てに不安を感じたとき に対処できる親の割合を増 加させます」と修正した。
69	飯野委員 Ⅲ-1-① 子どもを安心して産み育てられる環境整備	子育てに不安を感じたとき に対処できる親の割合を増 加させることは、整合性が 取れなくなる等の理由で不 可能であるのか。	■WT と調整し、表現方法 について検討する。	「子育てに不安を感じたとき に対処できる親の割合を増 加させます」と修正した。
70	山口委員 Ⅲ-1-② ニーズに対応した子育て環境の整備	P74 指標として、待機児童 の減少を指標としなかった 理由を教えてください。	□総人口・待機児童数がと もに増加傾向にあるた め、施設を増やしたとし ても減少する割合が低く なることが予想される。そ のため、充実を感じて頂 ける方の割合に着目した。 (WT) □悪くなる可能性があるか らこそきちんと目標を立て るべきだと思うため、再考 してほしい。(委員)	待機児童割合に変更した。

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
71	門脇委員 Ⅲ-1-③ 子どもも親も楽しめる遊べる場所の整備	P75 オープンスペースという言葉を用いているが、開放的な空間、誰もが自由に立入り活用できる空間等の日本語で具体的に表現可能であるか検討して頂きたい。	□検討する。(WT)	「公園・広場等」として追記した。
72	小原委員 Ⅲ-1-③ 子どもも親も楽しめる遊べる場所の整備	P75 公園の建設及び再整備について、数値目標を記載する等、もう少し具体的な表現にしてほしい。1班の世代や分野を超えた地域の居場所づくりの拡充というこの項目と一致すると思うので、一体化して進めてほしい。	□書き方と1班との話を詰めさせていただきたい。	—
73	中嶋(信)委員 Ⅲ-1-③ 子どもも親も楽しめる遊べる場所の整備	P75 児童館、交流センター、公園などと書いてあるが、学校は入れなくてよいのか。放課後居場所づくりの授業を教育局でやっていたと認識している。	□放課後居場所づくりに関しては次の7班で加えており、6班では学童保育について記載している。(WT)	施策間の役割分担は必要であるため、現状の書き分けのままとしたい。
74	生田目部会長 Ⅲ-1-③ 子どもも親も楽しめる遊べる場所の整備	両方の班で記載できないのか。	■検討する。	施策間の役割分担は必要であるため、現状の書き分けのままとしたい。
75	門脇委員 Ⅲ-1-③ 子どもも親も楽しめる遊べる場所の整備	プレイパークという言葉を使っているがもっと踏み込んで「冒険遊び場」という言葉にしたかどうかという提案をしたがこれは却下されたのか。再検討してほしい。	□理解が容易な表現やかつ書きを付ける等でもよいので検討してほしい。 (部会長) □検討する。(WT)	主要プロジェクトにおいて、「プレイパーク・冒険遊び場等」と文言を追加した。

Ⅲ-2 じぶんの「好き」が見つかる環境をつくる について

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
76	門脇委員 Ⅲ-2-②	Society5.0 という社会では人と人とのつながりが希薄	■今後 WT と調整を行い、全面的な見直しを検討	Ⅲ-2-① 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む学

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
	Society5.0 時代に活躍する児童生徒の育成	になることが予想されるため、未来構想及び教育大綱の趣旨と相反すると思うので全面的に削除してほしい。	する。	校教育の創出 として再編集した。
77	山本委員 Ⅲ-2- ③ 保育所における子どもの学びの充実	保育所だけにしても公立と私立があるため対象が曖昧である。また、この世代は、「学び」が「遊び」であったりする為、表現を工夫すべきではないか。	—	基本的に対象は公立としたい。遊びによる学びもあるが、遊びではない学び(収穫体験や野外炊飯等)もあるため、学びのままとしたい。
78	中嶋(修)委員 Ⅲ-2- ③ 保育所における子どもの学びの充実	Ⅲ-2-①②については再検討すべきであり、③は就学前の子どもは遊びを通して習得して学ぶという事だと思うので「学び」という表現を工夫すべきである。また④について、魅力ある放課後の創出という表現は難しい内容だと言葉的に思うので検討してほしい。	■今後、教育局とワーキングを開き検討する。	遊びによる学びもあるが、遊びではない学び(収穫体験や野外炊飯等)もあるため、学びのままとしたい。
79	中井委員 Ⅲ-2- ③ 保育所における子どもの学びの充実、Ⅲ-2-④ 魅力ある放課後の創出	保育所で働く職員や児童クラブで子どもの保護にあたるスタッフ等の子どもに日々関わる人達の専門性を高めること等も重要である。指標の中に研修や現場の人材育成に関する視点も入れる必要があるのではないか。	□工夫して反映してほしい。(部会長)	職員の人材育成については、行政内部の「人材育成基本方針」に基づき進めている内容であるが、専門性の高い内容に限って戦略プランに追加することとし、Ⅲ-2- ③ 就学前における子どもの学びの充実 の指標及びプロジェクト②に追加した。
80	門脇委員 Ⅲ-2- ③ 保育所における子どもの学びの充実、Ⅲ-2-④ 魅力ある放課後の創出	イタリアのレッジョ・エミリア幼児教育は世界的に注目されている。その職員たちがどういふつもりで勉強しているかについてももっと勉強していただきたい。教育大綱の中で幼児教育についてはレッジョ・エミリア方式の	□検討する。(WT)	参考とさせていただく。指摘を踏まえ、削除する。

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
		導入を検討してもいいのではないか。 また、P79 個別施策の現状「しかし、保護者からは英語や算数などの早期教育を希望する声があります」とあるが、これはあまり関係ないので、削除してはどうか。		
81	中嶋(信)委員 Ⅲ-2- ④ 魅力ある放課後の創出	保育所に行っている子ども達はほぼ全員がそのまま学童クラブに行く可能性が高いため、待機児童数を出すことはできないのか。出すことが可能であるならば指標の数値を変更する必要がある。	<input type="checkbox"/> 計算方法について担当課に確認する。(WT)	設定根拠の6クラブ 240 名を整備は、現状の最大値で、それ以上に整備していくのは物理的に困難であるため、変更しない。
82	飯野委員 Ⅲ-2- ④ 魅力ある放課後の創出	待機児童について、クラブ数ではなく定員数で表現すべきではないのか。	<input type="checkbox"/> 確認する。(WT)	厚労省のガイドラインでは、定員という概念がなく、「おおむね 40 名程度が望ましい」とある。これを踏まえ、定員数での表記には変更しない。ただし、考え方として1クラブ 40 名程度で計算している。
83	山本委員 Ⅲ-2- ④ 魅力ある放課後の創出	「違う価値観を持った子供が集まる魅力あふれる施設」に関する記載がないため、方針の中で児童クラブ以外の部分について触れるべきではないのか。また、「保育所における学びの充実」については、保育所に限った話であるのか。	<input type="checkbox"/> 保育所だけではなく、幼稚園、小学校、その他施設も関係しているため、現在調整中である。(WT)	一般来館の子も児童クラブ員と同様、分け隔てなく同じことを行っているため、ある意味児童館も児童クラブも一緒という認識である。

Ⅲ-3 多様性をいかした誰もが活躍できる社会をつくる について

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
84	山本委員 Ⅲ-3- ① 多	外国人住民数を増加させるということだが、つくばにお	<input type="checkbox"/> 具体的に数字として持っているわけではないが、こ	質に関する指標として、在留外国人の家族滞在の割

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
	様性をいかした 社会の推進	いて外国人の方がどうい た理由で来ているかとい う特徴は掴んでいるのか。	れまでの対応の中で研究 職の方と留学生が圧倒 的に多いと感じている。統 計上ではどういった理由 で来ているのかまでは測 れていないが、つくば市 が住みやすいという一定 の判断ができるのではな いかと考えている。(WT)	合を高める指標に変更し た。
85	山本委員 Ⅲ-3- ① 多 様性をいかした 社会の推進	外国人住民数を増加させ るにあたり、外国人が安心 して居住できる具体的手助 けが必要ではないか。 性的マイノリティについて、 セミナー等を通して啓蒙し ていくことは大事だが、中 学生の子供については非常 にハードルが高いため、制 服の自由化といった施策が 必要ではないか。また、市 に提出する書類において、 男女記載が特段その内容 に必要ない場合は男女の記 載をしないといった必要 があるのではないかと考 えている。(WT)	■外国人の数については、 この後WTと相談し単純 に数ではなく質に関する ものに見直したい。居住 に関することも参考にしな がら調整したい。	制服の自由化等は機運を 見て判断していく。
86	飯野委員 Ⅲ-3- ① 多 様性をいかした 社会の推進	変更するという事で期待し ているが、住む事に焦点が いっており、つくば市に 来た時に居やすい環境に 対する本質的問題を表す 指標にすべきではないか。 検討してほしい。	—	質に関する指標として、 在留外国人の家族滞在の 割合を高める指標に変 更した。
87	門脇委員 Ⅲ-3- ① 多 様性をいかした 社会の推進	個別施策では在留外国人 について、指標では男女 共同参画について触れて いるため、ハンディキャ ップ、在留外国人との相 互理解といったハンデを 持った人達との交流等を 指標の	□指標について、今後検 討する。障害に特化した ものがよいかどうかわか らないが記載してある 個別施策の現状やその方 向性に沿ったものをも う一つ追加するという 認識で良	質に関する指標として、 在留外国人の家族滞在 の割合を高める指標に 変更した。

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
		中に入れることは出来ないか。日本人の市民と在留外国人との相互理解は重要であると思うため検討してほしい。	ければ検討する。(WT)	

IV-1 知識集約による社会イノベーションが生まれるまち について

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
88	山海委員 IV-1 知識集約による社会イノベーションが生まれるまち	ハイテクを導入した次世代農業に対し、科学技術導入に最適な土地があったとしても、用途規制の点から、実現しないことがある。用途変更をはじめ、土地利用規制の緩和について、市が県等に協議すること等も含め、段階的に取り組みを進めていく必要がある。	□就農者のみならず、産業基盤の観点で、農業の新規分野を検討することは重要であると捉えている。総合計画の中で、農業の展開について文言を加筆することは必要であると思われる。(部会長)	プロジェクトを推進する上で、参考とさせていただきたい。
89	永井委員 IV-1- ① 社会課題解決やイノベーション創出のための共創の仕組みづくり、IV-1- ② 社会実装の推進によるイノベーション創出	P86、87「基本施策IV-1 知識集約による社会イノベーションが生まれるまち」に紐づく、2つの個別施策の違いは何か。	□P86の個別施策は、幅広く市内事業者の取り組みを受け付けるというものである。P87の個別施策は、具体的な取り組みに対する支援について記載している。(WT)	IV-1- ① 新たな共創の仕組みづくり、IV-1- ② 新たな技術の社会実装の推進、等と個別施策名を修正した。
90	小玉部会長 IV-1- ① 社会課題解決やイノベーション創出のための共創の仕組みづくり、IV-1- ② 社会実装の推進によるイノベーション創出	P86 PJ1「未来共創プロジェクトの実施」というタイトルだけでは内容がわかりにくいいため再考の余地がある。	—	IV-1- ① 新たな共創の仕組みづくり、IV-1- ② 新たな技術の社会実装の推進、等と個別施策名を修正した。
91	山海委員 IV-1- ② 社会実装の推進によるイノベ	住民税、固定資産税を市の判断で大幅に削減するなどすれば、スタート	—	プロジェクトを推進する上で、参考とさせていただきたい。

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
	シヨン創出	アップ企業の集積推進につながるインセンティブになる。企業側からは、つくばに行けばよい環境があると思われるので有効である。大胆な取り組みをしてほしい。		
92	永井委員 Ⅳ-2-② 地元企業等の新たなチャレンジを支援する仕組みづくり	P90 助成金、交付金の付与等担い手農家に対して具体的な支援についてどのようにお考えか。空き家等の活用等について検討するのか。	<input type="checkbox"/> 国、市の方の補助金を活用すること想定している。(WT)	I-2-② つくばらしい豊かな農資源を輝かせることに寄る魅力の創出 に統合した。
93	桜井委員 Ⅳ-2-② 地元企業等の新たなチャレンジを支援する仕組みづくり	農業就業者に対する支援について、予算はどれくらいを想定しているか。	<input type="checkbox"/> 新規就農者の補助金は生活費、準備費用を目的としたものであり、1人約150万与えられる。(WT)	I-2-② つくばらしい豊かな農資源を輝かせることによる魅力の創出 に統合した。
94	山海委員 Ⅳ-2-② 地元企業等の新たなチャレンジを支援する仕組みづくり	各分野に関する予算措置の計画を、戦略的に考える必要がある。例えば、少子高齢化への対応技術改革、次世代農業革命、Society5.0の推進等、今後の社会変革への取り組みプランについて、今回の未来構想改訂をきっかけに広く検討してほしい。	■つくば市未来構想は、市の政策の全体の方針を示している状況であり、具体的な内容については個別計画で補完するような体系としている。戦略プランの中である程度想定される事業の方針を掲載する必要があると考えている。	プロジェクトを推進する上で、参考とさせていただきたい。
95	桜井委員 Ⅳ-2-② 地元企業等の新たなチャレンジを支援する仕組みづくり	新機能業者に対する補助金は、事業者側として1人を雇った場合に対して付与されるものか。	<input type="checkbox"/> 個人事業主向けの補助金である。(WT)	—
96	高谷委員 Ⅳ-2-② 地元企業等の新たなチャレンジを支援する仕組みづくり	国の予算の中で、新規就農者向けの補助金は廃止されたのではないか。	<input type="checkbox"/> 国の補助金制度は残っているため、活用したいと考えている。(WT)	—

IV-3 市民のために新技術等の導入を促進する について

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
97	山海委員 IV-3- ① 誰もが快適で活 力に満ちた質 の高い生活を 送ることので きる近未来技 術の社会実装	つくば市はスマートシティ構 想にも選ばれており、今後ロ ボットの活用を推し進める 状況である。ただ、ロボッ トの歩道上の歩行は、現行 の法律に抵触する場合が あるため、市の中で、ロボッ トの導入に関するルールを 検討していただき、活用を 図ってほしい。	□「国の働きかけによる」等 をといた文言を入れ込 み、ロボット導入について 公民連携の内容の記載 を未来構想の中で検討し たいと思う。またモビリティ については法的整理によ る解決が図られている。 (毛塚副市長)	IV-3- ①をスマートシティ の推進として内容を書き換 え、ロボット等についても追 記した。
98	山海委員 IV-3- ① 誰もが快適で活 力に満ちた質 の高い生活を 送ることので きる近未来技 術の社会実装	つくば市の障害者トイレマッ プについて、組織の中で情 報共有を図ってほしい。	□障害者のためのマップは 最近インターネット上に公 表した。(毛塚副市長)	—
99	林委員 IV-3- ① 誰もが快適で活 力に満ちた質 の高い生活を 送ることので きる近未来技 術の社会実装	P94 指標1で定性的評価で ある市民意識調査の結果 が指標として扱われている ため、定量的な指標につ いて検討の余地があると思 われる。	□市民ニーズの充実という 部分で、市民意識調査を 採用させていただいたが 定量的な指標を再度検 討する。(WT) □指標2つ設ける等、複数 設ける等、定量的な指標 を検討する。(毛塚副市 長)	IV-3- ①をスマートシティ の推進として内容を書き換 えた。 また、基本的にはアウトプ ットではなく、アウトカム指標を 基本としているため、定量 的にはこだわっていない。
100	山海委員 IV-3- ① 誰もが快適で活 力に満ちた質 の高い生活を 送ることので きる近未来技 術の社会実装	P94 人に焦点を当てたま ちづくりとしたいため、「IoT」 というモノのインターネットで はなく、「IoT/H/IoT」というヒト とモノのインターネットという キーワードにすべきかと。	—	IV-3- ①をスマートシティ の推進として内容を書き換 え、内容を追記した。

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
101	宇津野委員 IV-3- ③ 書かない・待たない・行かないデジタル窓口の推進	P97 指標1マイナンバーカードの交付率について、60%と控えめな目標値が与えられているが、90%と高くしたらどうか。	<input type="checkbox"/> 3年後、国の施策上では、保険証を一体化したマイナンバーカードの普及率の目標を100%としている。 ただ、交付する場所や人員の確保を考慮して、控えめな数値を設定した。現状の普及率については改めて確認を行う。(WT)	92.2%が正しい数値のため、修正した。
102	永井委員 IV-3- ⑤ 自動車から自転車への転換の推進	P100 自転車レーンの整備について、本当に生活の中で役に立っているのかわかりかねる。	<input type="checkbox"/> 自転車レーンの整備は県と市と検討することとなる。歩行者と自転車との死亡事故が起きている背景もあるため、安全推進協議会の中でも自転車レーンの推進がされている。場所に応じた自転車レーンの設置を検討したいと思う。(WT)	—

IV-4 地球にやさしく「ごみ」のない低炭素で循環型のまちをつくる について

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
103	永井委員 IV-4- ① 食品ロス低減の推進	P103 指標1 いばらき食べきり協力店は飲食店のみを対象とした活動であるか。	<input type="checkbox"/> 食品ロスの低減を目指すことを目的とする、飲食店の取り組みであるため、指標には飲食店のみが対象となる。(WT)	—
104	林委員 IV-4- ① 食品ロス低減の推進	P103 食品の産業廃棄物の数値の把握はされているのか。	<input type="checkbox"/> 産業廃棄物の中の食品の廃棄については、事業系のごみに含まれているため、正確な数値はわかりかねる。(WT)	飲食店だけではなく、小売店にも働きかけていきたい。
105	桜井委員 IV-4- ① 食品ロス低減の推進、IV-4-	炉に入れるごみの量を減らすことを検討していただきたい。学校や介護施設から出る生ごみを分別して動物に	—	焼却炉に入れる量を減らすために、再資源化等を進めていきたい。

No.	発言者・箇所	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
	② 再資源化、再利用率の推進	食べさせるという取組を検討してはどうか。		
106	村上委員 Ⅳ-4- ① 食品ロス低減の推進	家庭用のごみは分別をしづらいが、事業用のごみを肥料に再利用する取り組みは行われているのか。 セブン-イレブンジャパンは、ごみを分別し、炭水化物を豚に食べさせるなど、食品リサイクルの取り組みが行われている。	—	プロジェクトを推進していく上で参考としたい。
107	小玉部会長 Ⅳ-4- ① 食品ロス低減の推進	食材の再資源化を未来構想に盛り込むことを検討していただきたい。	—	再資源化等を進めていきたい。
108	林委員 Ⅳ-4- ⑤ 低炭素化の推進	P107 指標1の低炭素の満足度について、市民意識調査で扱っているが、アンケート対象者は回答をしづらと思う。排出しているCO ₂ の量等定量的な指標に検討したらどうか。	□現況「わからない」という回答が多い中で、PRに関する取り組みの効果を示すため、市民意識調査結果を指標として提案している。(WT)	指摘を踏まえて、数値化できる指標として、「つくば市低炭素(建物・街区)ガイドラインの認定住宅を増やします。」に変更した。
109	宇津野委員 Ⅳ-4- ⑤ 低炭素化の推進	P101 低炭素化について、CO ₂ の削減等を目標に掲げていただけるとよい。	—	指摘を踏まえて、数値化できる指標として、「つくば市低炭素(建物・街区)ガイドラインの認定住宅を増やします。」に変更した

以上

未来構想改定案及び第2期戦略プラン案のパブリックコメントの実施概要

□内容

1 趣旨

つくば市では2015年度に、まちづくりの指針となる「つくば市未来構想」と、未来構想に基づく5年間の取組としての「つくば市戦略プラン」を策定したが、社会・経済等の情勢変化に対応し、諸課題を克服しながら次の世代に継承・発展させていく「持続可能都市」を目指すため、「つくば市未来構想」を改定し、「第2期つくば市戦略プラン」を策定するにあたり、内容について審議する。

2 経過

(1) 庁内における調査、研究、調整又は協議のための会議を開催

未来構想・戦略プランの素案作成のための職員ワーキングチームを設置

(2018年6月～3月、2019年5月～随時開催)

つくば市未来構想等策定委員会(2018年5月～2019年11月 計11回)

(2) 有識者・市民等により基本事項を調査及び審議をするための会議を開催

つくば市未来構想等審議会(2018年8月～2019年11月 計8回)

(3) 市民対象の説明と意見交換を実施

未来構想キャラバン(2019年6月～10月 計10回)

3 まちづくりの理念

「つながりを力に未来をつくる」

※詳細は別紙「つくば市未来構想(案)」参照

4 今後の予定

① パブリックコメントの実施(12月9日～1月13日)

② 未来構想等策定委員会及び未来構想等審議会の開催(2020年1～2月)

③ 未来構想(案)について3月議会に上程(令和2年2月)

④ 「つくば市未来構想」及び「第2期つくば市戦略プラン」の公表(2020年3月)

5 現行のつくば市未来構想、戦略プランからの変更点

【未来構想】

- ・SDGsの考え方を取り入れた4つの目指すまちの姿を掲げ、そのそれぞれに、2030年までに実現を目指す未来像を示した。
- ・つくば市の人口に関する展望を示した「つくば市人口ビジョン」を統合した。

【戦略プラン】

- ・「つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方を引き継ぎ、戦略プランとして一体的に策定した。
- ・「つながりを力に未来をつくる」ために、「つくばが「つながる」ための視点」を

5つ整理した。

- ・着実に戦略プランを推進するため、施策の指標を設定し、計画的に進行管理を行うこととした。

□効果等

つくば市の社会情勢や地域特性、市民の声、人口・財政の状況を適切に把握した上で、SDGsの目標達成年とされている2030年の未来像を示し、目指す人口ビジョンや土地利用について明確にすることで、持続可能都市としての基盤をつくることができる。また、市政の中でも特に重点的に取り組む施策に経営資源を配分し、組織横断的な取組を行うとともに、計画的に進行管理を行うことにより、効果的・効率的に2030年の未来像の実現に向け取組を進めることができる。

つくば市未来構想改定案 概要版

【継続審議のため非公開】

つくば市未来構想改定案 本編

【継続審議のため非公開】

第 2 期つくば市戦略プラン案 概要版

【継続審議のため非公開】

第 2 期つくば市戦略プラン案 本編

【継続審議のため非公開】